

一般財団法人 先端加工機械技術振興協会

令和8(2026)年度事業計画書

令和8(2026)年4月1日から令和9(2027)年3月31日まで

本年度も、運用財産の有効な活用により「高度なものづくりのための先端加工機械技術」に関する研究助成、調査研究、成果普及の各事業を一層充実することを目指して、下記の諸事業を行う。

I 先端加工機械技術に関する研究助成

先端加工機械技術に関する優れた研究に対して行う助成事業を、これまでよりも充実させて実施するよう努める。

II 先端加工機械技術の動向に関する調査研究

今後の我が国のものづくり産業の基盤となる先端加工機械技術の動向調査を実施する。特に、加工関係の企業（主に中小規模の元気な企業）・団体（地方公設機関等）・個人の活性化・強力化を目指して立ち上げた「先端加工研究会」の活動を充実することに努める。

III 研究成果等の普及

1. 機関誌の発行

機関誌「先端加工技術」の自主編集を継続し、年間3回発行して最新技術の動向、研究助成成果等の紹介を行い、普及に努める。

2. その他の普及活動

これまでより広範囲の動向調査等の結果を踏まえ、東京地区での技術講演会開催や地域への普及を検討する。

IV その他

加工技術に関連する各種団体等との連携を深めることにより、先端加工機械技術のさらなる発展と普及に努める。